


リサーチグループ登録届出書

平成 24年 1 月 20 日

1. グループの概要

グループの名称	地球・環境変動
分野名	理工系
設置場所	
設置予定期間	平成24年4月2日から平成29年3月31日

2. 研究代表者

所属・職名	生命環境系・准教授
(ふりがな)	やぎ ゆうじ
氏名	八木 勇治 

3. 連絡先

所属・職名	生命環境系・准教授
氏名	八木 勇治
電話	029-853-8491
FAX	029-853-8491
E-mail	yagi-y@geol.tsukuba.ac.jp

4. 担当部局(当該グループの運営等を管理する部局名)

生命環境科学等支援室

グループ名	地球・環境変動				
グループ名(英語)	Evolution of Earth and Environment				
分野	参考: 1. 人社会系、2. 理工系、3. 生物系、4. 複合系のうち、該当の番号を記載してください。				2
科研究種目番号	主なものから順番に3つまで記載してください。		4401	4404	4406
キーワード(5つまで)	地球科学	地球変動	環境変動	地震・火山	
キーワード(英語)	Geoscience	Evolution of Earth	Evolution of environment	Earthquake and Volcano	
グループのHP:URL					
代表者名(英語)	Yuji Yagi				
研究組織					
氏名	所属機関	職名(任期)	専門分野	学位	役割分担
八木勇治	生命環境系	准教授	固体地球物理学・地震学	博士(理学)	グループ代表者
榎田勝男	生命環境系	教授	地質学・古生物学	理学博士	調査・分析・解析・議論
久田健一郎	生命環境系	教授	地質学・堆積岩石学	理学博士	調査・分析・解析・議論
荒川洋二	生命環境系	教授	岩石学・火山学	理学博士	調査・分析・解析・議論
林 謙一郎	生命環境系	教授	地球資源科学	理学博士	調査・分析・解析・議論
木股 三善	生命環境系	教授	鉱物学	理学博士	調査・分析・解析・議論
上松 佐知子	生命環境系	准教授	地質学・古生物学	博士(理学)	調査・分析・解析・議論
氏家恒太郎	生命環境系	准教授	構造地質学	博士(理学)	調査・分析・解析・議論
角替 敏昭	生命環境系	准教授	岩石学	博士(理学)	調査・分析・解析・議論
丸岡 照幸	生命環境系	准教授	地球化学	博士(理学)	調査・分析・解析・議論
安間了	生命環境系	講師	構造地質学	博士(PhD)	調査・分析・解析・議論
滝沢 茂	生命環境系	講師	構造地質学	理学博士	調査・分析・解析・議論
小室 光世	生命環境系	講師	地球資源科学	理学博士	調査・分析・解析・議論
黒澤 正紀	生命環境系	講師	鉱物学	博士(理学)	調査・分析・解析・議論
興野 純	生命環境系	講師	鉱物学	博士(理学)	調査・分析・解析・議論
藤野 滋弘	生命環境系	助教(テニュアトラック4年)	堆積学・津波	博士(理学)	調査・分析・解析・議論
池嶋 慶	生命環境系	助教(テニュアトラック5年)	岩石学・火山学	博士(理学)	調査・分析・解析・議論
高田亮	生命環境系	教授(連携大学院)	火山学	理学博士	調査・分析・解析・議論
山崎 俊嗣	生命環境系	教授(連携大学院)	古地磁気学	理学博士	調査・分析・解析・議論
石塚 治	生命環境系	准教授(連携大学院)	火山学	博士(理学)	調査・分析・解析・議論
グループ概要(100字程度)					
<p>巨大地震、火山噴火、隕石衝突とそれに伴う巨大津波、また大規模地球変動によって、生物・人間活動は大きなダメージを受ける。また、地下資源の枯渇や化学物質による環境変動は直接的に人間活動に影響を及ぼす。このような人類が直面している問題について、地質学・地球物理学・地球化学データを用いた基礎研究を行う。</p>					
グループ概要(英語)					
<p>We perform basic research related to great earthquake, volcanic eruption, meteorite impact, tsunami and geodynamic change, which are destructive natural phenomena and also are recorded in geological and geophysical data. In addition, we study geological resources and environmental change with chemical material.</p>					
設置の目的及び必要性					
<p>地球の環境は、内的な要因や外的な要因によって大きく変化する。このような環境の変化を長期的な視点で把握し、その仕組みを理解することは、人類が持続的な発展を遂げるために欠かすことができない。これらの問題の基礎研究を行うためにグループを設置する。</p>					
研究計画					
<p>地球・環境変動を理解するために、地震の震源過程や火山のマグマ蓄積過程、津波現象を地球物理学・地質学データから研究。大規模な環境変動を地層に含まれる地質学・地球化学データから研究。大規模地殻変動を岩石学的なデータを用いて研究。地下資源の形成過程や化学物質の拡散・濃縮過程の研究を行う。また、地球・環境変動の理解を深めるために、グループ構成員が参加する地質学セミナーを開催する。</p>					
研究・教育に期待される効果(箇条書き)					
<ul style="list-style-type: none"> 自分の研究分野のみではなく、大局的な地球変動を理解することにより、様々な分野にインパクトをもたらす研究成果を出すことができる。 学生が自分の研究テーマの社会的な意味を認識することにより、より意欲的に研究活動を行う環境になる。 					